

総合的な学習の時間でめざす子供 ・地域の人・もの・ことを通して学び、地域を大切にする心をもつ子
 ・問題解決や探究活動に主体的、対話的に取り組む子



各教科との関連
 ・各教科等で培った力をわくわくタイムで発揮しさらにその力を伸ばす。
 ・わくわくタイムで身に付けた力を科学学習で生かす。
 <国語>適切に表現できる力
 <社会>郷土・国土の地理・歴史、社会の仕組みについての理解
 <算数>数量や図形の知識理解応用力
 <理科>自然現象の観察力・理解力
 <音楽>音楽的な表現力
 <図工>創造的・造形的な表現力
 <家庭>生活に関する知識技能
 <体育>健康安全への知識理解
 <道徳>地域との関わり・よりよく生きるための道徳性
 <特活>自主自立する力、実践力

生活科との関連
 ・身の回りの様々なできごとに関心をもつことができる。
 ・調べてみたいこととやってみたいことを見つけたり、選んだりすることができる。
 ・家の人や身近な人から聞き取り調査をすることができる。
 ・自分の思いや考えを話すことができる。
 ・自分の思いや考えを絵や文で表現することができる。
 ・活動を通して気づいたことを振り返り、試したり身近な人に教えたりすることができる。

評価
 <評価規準のプロセス>
 ①身に付けたい力に基づいた年間計画指導
 ②具体的な単元設定と子供の意識を見通した学習展開構想
 ③単元を通して身に付けたい力の設定
 ④具体的な育てたい力の評価規準の作成と評価方法を考えた評価計画
 <評価方法> ワークシート等
 教師の見取り・直接対話

総合的な学習の時間で身に付けたい力		
	3・4年生	5・6年生
問題を発見する力	・自分が関心をもったことを調べ、活動する意欲をもつ。	・調べ、活動する価値のある課題を見つけ取り組むことができる。
問題を追究する力	・自分の課題に向かって計画を立て、粘り強く取り組む。 ・調べるための方法を選び、工夫して取り組む。	・自分なりの計画や見通しをもち、追究方法を工夫して取り組む。 ・自分の追究や活動を振り返り、計画を見直し、次の活動を工夫する。
活動内容や思い・考えを表現する力	・自分の意見を分かりやすく伝える。 ・言葉遣いに気をつけて地域の方と会話をする。	・聞き手を意識して、伝える目的に応じた話し方をする。 ・相手を意識して、目的に適した活動のまとめや発表をする。
学んだことを生かす力	・学んだことを学校や家庭の中で実践し、伝える。	・学んだことを自分の考え方や生き方に生かす。

学年年間活動計画		
3年	地域に学ぶ伝統行事	神明宮のお祭りに関わる人々とふれ合い、地域のよさに気づく。
4年	自分で守るわたしたちの生活	伊賀川の洪水や岡崎市の防災について調べたり、まとめたりする。ゲストティーチャーの方々のお話を聞き、地域の人と交流する。
5年	米作りで食を学ぶ	バケツ稲作りを通して、米の生産に関わっている人たちの工夫や努力を理解したり、食の安全について考えたりする。
6年	発見・体験・伝統の技	学区に伝わる伝統工芸について調べ、体験を通して深く追求していく。

総合的な学習の時間運営計画					
	テーマ設定	計画作成	体験追究	まとめ発表	計
3年	2	5	10	3	20
4年	2	5	10	3	20
5年	2	5	10	3	20
6年	2	5	10	3	20

※年15時間は、「岡崎市環境学習プログラム」に充てる。

家庭・地域との連携
 ○地域から学ぶ
 ・地域の自然・社会環境の教材化
 ・地域の人材の活用
 ○地域で学ぶ
 ・地域での校外学習
 ・地域から学ぶ場面設定
 ○ゲストティーチャーの活用
 ・地域の人材バンク
 ○学習支援への保護者の協力体制
 ○家庭・地域への発信
 ・広小だより
 ・広小ホームページ
 ・各学年、学級通信